

⑤【単元目標】 場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。

⑥【単元の言語活動】好きなところを選んで、音読発表会をする。

（相手：幼児園児 目的：様子が表れるように読む 方法：音読発表会をする 場面：幼児園との交流会で 評価：読みをいかして音読で伝えることができたか。）

④【教材の特徴】

・本文には、登場人物との楽しい対話や繰り返しの表現が効果的に用いられており、わくわくした思いをどんどんふくらませながら読むことができる。

③【既習事項】

・「おおきなかぶ」で、場面の様子や増えていく登場人物について想像を広げながら読むことを経験している。

②【児童の実態】

○物語文に興味をもって読んだり聞いたりして楽しむことができる。
△思い浮かべた様子を相手に伝えようと音読することが苦手な児童がやや多い。

①【重点とする指導事項】

・語のまとまりや言語の響きなどに気を付けて音読すること。
【読むこと（1）ア】

⑦【言語活動成立の要件】

ア 登場人物・時・場所を確認し、登場人物の行動や場面の展開から、想像を広げて読む。
イ 会話文に「」をつけることや、助詞『も』の使い方を理解している。
ウ 音読では、声の大小、速さなどの工夫ができることを理解している。

⑧【単元の流れ】

<p>【第1次】 1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぐりとぐら」の音読（ブックトーク）を聞く。 ・題名から内容を予想し、「くじらぐも」の筆読を聞く。 ・学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。 	<p>【第2次】 5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな読み方で音読をしながら話の内容を確認し、好きなところを伝え合う。 ・会話文を、「子どもたち」と「くじらぐも」の役に分かれて、動作しながら読む。 ・「くじらぐも」に乗って空を旅する子どもになったつもりで、想像して会話を付け加え、音読を楽しむ。 ・かぎの使い方を学び、かぎを使って考えた言葉を書く。 	<p>【第3次】 2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな場面を選び、グループで役をきめて音読の練習をする。 ・音読発表会をし、感想を交流する。
---	--	--

並行読書・・・中川李枝子の作品を紹介し、朝活動などで読むことができるようにしておく。

⑨【単位時間の工夫】

<p>【第1次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5枚の挿絵をお話の順序に並べ替えたり、教師の「あらすじクイズ」に答えたりして、誰が何をしたかを場面ごとに捉えさせる。 	<p>【第2次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展開 繰り返される言葉や会話の読み方を工夫して、登場人物になりきって場面の様子が現れるようにグループで音読を交流し、その後、全体交流して、音読を工夫する。 ・まとめ 登場人物の様子を想像して音読ができるかグループ発表を工夫して見届ける。 	<p>【第3次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを活かし、幼児園の子の前で様子を思い浮かべて音読発表会をする。
---	--	--

⑩【支える学習環境】

・考えの足場となる教室掲示（単元を貫く課題の掲示、学習計画表の掲示、学習のわかる掲示）
・並行読書用図書の設置 ・大きくくじらぐもの掲示

(1) 願いを明確にした単元指導計画の工夫

・単元を貫く課題を「子どもたちやくじらぐものようすをおもいうかべてよみ、『くじらぐも』のおんどくをしよう。」とした。前時の音読の工夫をVTRで確認して、本時の工夫につなげるようにする。
・単元の出口に来年度入学する幼児園児への「おんどくはっぴょうかい」を位置付けることで、学習への意欲付けを行う。

(2) 考えを深め、広げるための指導の工夫

・グループで「～ように読みたい。」と願いをもって音読練習し、グループ間でお互いに動作化や音読を見合う中で、アドバイスをし、よさを認めたり、さらに練習したりする活動を取り入れていく。また、全体交流では、広めたい声の大きさの工夫や動作化を紹介して、自分達のグループに取り入れるようにする。

(3) 自己の高まりを自覚できるまとめ方の工夫

・1時間の授業の中で、相互評価・自己評価をすることで、できるようになったことを自覚できるようにワークシートを工夫する。

◆本時のねらい

「もっとたかく、もっとたかく」「天までとどけ、一、二、三。」の会話文に着目し、役になって動作化することを通して、くじらぐもに飛び乗ろうとする子どもたちの一生懸命な様子や、応援するくじらぐもの様子を想像して読み、音読することができる。

◆本時の展開（4／8）＜P8～P9＞

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点（☆人権教育の視点）
つかむ	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> くじらぐもと子ども達が「おうい。」「ここへおいでよ。」と声を掛け合って、くものくじらに飛び乗ろうと男の子も女の子も張り切ったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の音読発表の録画を観ることで工夫したことを思い出し、本時でもさらに音読を工夫したいという思いをもつようにする。
／	<p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くじらぐもにのろうとしている子どもたちと、おうえんするくじらのようすをかんがえ、くふうしておんどくしよう。</p> </div>	
／	<p>3 P8～P9（3場面）を一斉音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 何回も出てくる言葉を確認しながら音読をするようにする。
考える	<p>4 3回も言っている言葉「天までとどけ、一、二、三。」と変わっていつている言葉を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しの言葉を視写する。 子どもたちの跳んだ様子の変化を叙述から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> かぎ括弧、句読点の位置に気をつけて視写するようにする。
／	<p>5 子どもたちの「天までとどけ、一、二、三。」とくじらぐもの「もっとたかく。もっとたかく。」の読み方を考え、全体交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どうしてそういう読み方をするのかを理由を入れて交流する。 子どもたち（運動場）とくじらぐも（空）の位置を確認し、音読の仕方（声の大きさや速さ）を考えるようにする。
深める	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎どうして「天までとどけ、一、二、三。」の声が、どんどん大きくなったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 1回目で少ししか跳べなかったため、2回目、3回目と気合いが入り、どんどん声を大きくして言っている。 くじらが「もっとたかく。」と応援してくれるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、うんと高く跳ぼうとしてどんどん声は大きくなっていることと、くじらも2回目は前より大きく言っていることを確認する。
／	<p>6 交流したことを基に、グループ練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、くじらぐもに乗るぞとだんだん声を大きくするように読んでいこう。くじらも2回目はもっと大きく言って子どもたちを応援するようすを表そう。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読で、仲間のよい姿を見つけ、名前を書く。理由を書ける子は書くように促す。
／	<p>7 代表のグループの音読発表の良い所を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 声が少しずつ大きくなってよかった。 くじらぐもに絶対乗るぞ、という気持ちが「一、二、三。」の大きな声から伝わってきた。 1回目、2回目、3回目とどんどん高く跳ぼうとしていることがわかるようにだんだん声を大きくしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆仲間の意見を聞き、よさに気付くことができる。（認識力）
／	<p>8 今日の学習の振り返りをし、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんどん声を大きくして音読した。わけは、くじらが応援してくれたし、今度こそ絶対くじらぐもに乗るぞと頑張っているから。くじらぐもも子どもたちに絶対乗ってほしいから、2回目は声を大きくして音読する。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準【読む能力】</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」とみんなで力を合わせてくじらぐもに乗ろうとしている子どもたちの様子、「もっとたかく。もっとたかく。」と子どもたちを応援しているくじらぐもの様子を想像し、音読している。 <発言・音読></p> </div>
／	<p>9 まとめの音読をし、次時の見通しをもつ。</p>	